



Contents

理事長・常務理事よりご挨拶	2P
第三者評価導入について	3P
新しい仲間紹介	4・5P
行事／自主生産品ご紹介／新人歓迎会	6・7P
永年勤続表彰式／編集後記	8P



安定運営をめざして



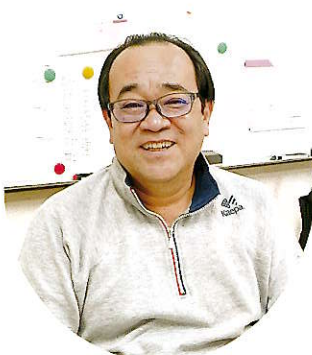
理事長 松井 美弥子

法人設立42年目となり、利用者の高齢と重度化、施設設備の老朽化等々多岐にわたる課題が顕在化しております。

まず、人が人を支援する現場ですので、ハンディある利用者へ寄り添える人材の確保と育成・定着に力を注いでいます。平成30年度より念願であった施設の「第三者評価」を受け、順次全施設の評価受審を予定しております。

現在は施設利用も契約ですので、旧態依然とした運営では運営資金も不安定な難しい時代になりました。当法人が未来永劫に安定して運営をしていくために「人事考課制度」にも取り組んでおります。他法人さんより数年遅れていますが、利用者との双方の安心の為に地道に進めて参ります。皆様、これまで通り当法人を温かく見守ってご支援を賜りますようお願い申し上げます。

法人の取り組み



常務理事 今西 則行

法人運営がみなさまに支えられながら42年目を迎え、その間に福祉サービスの制度や仕組みも大きく変わってまいりました。法人設立当初に尽力された方々が、「宝塚さざんかの家」を「通所授産施設」からスタートされたのは、「地域で過ごす・暮らす」「大人になったら働く・創作する」という強い思いがあり、この願いが法人設立の原点ではないかと思っています。また、宝塚さざんか福祉会の現在の法人理念は、平成25年に当時在籍する職員全員へのアンケートを実施し、寄せられた374件ものさまざまな思いや目標、進むべき方向性等を集約し、平成26年4月に策定されたものです。

私たちが取り組むべき指針は、これら設立当初からの思いや現場実践を支える職員が作り上げたこの理念を基に事業計画を示していることを改めて共有しておきたいと思っております。法人理念を実現するために、年度ごとに各事業所の計画や法人全体の会議運営やプロジェクト、委員会等が活動しています。

今年度の重点課題としては、①組織運営・経営体制の強化 ②人材の確保・育成・定着 ③地域貢献 ④各事業所での優先課題の明確化を挙げており、それぞれの目標・計画・役割等に沿って取り組みました。



第三者評価とは…？

福祉第三者評価は、福祉サービスの質について、公正・中立な第三者評価機関に、専門的、客観的な立場のもとに評価を行っていただき、改善、向上の為に課題等を明らかにして、より良い福祉サービスの質の向上をはかる事を目的として行います。

宝塚さざんか福祉会が第三者評価を導入することになった経緯や目的 ～福祉サービスの質の向上を目指して～

事業所部部長 上江洲 薫

「第三者評価」は、社会福祉法の改革により、福祉サービスは行政による措置であったものが、利用者の選択による利用制度に移行することとなり、福祉サービスの質の向上が求められるようになりました。そこで、「福祉サービスの第三者評価」が生まれました。

福祉サービスの「第三者評価」は、社会福祉法人等の提供するサービスの質を事業者及び利用者以外の公正・中立的な第三者機関が専門的かつ客観的な立場から評価を行うものです。そのメリットは、自らが提供するサービスの質について改善すべき点を明らかにし、取り組みの具体的な目標設定を可能とするとともに、評価を受ける過程で、職員の自覚と改善意欲の醸成、課題の共有化が促進されること。また、利用される方からの信頼の獲得と向上が図られることです。行政監査が、最低基準を満たしているか等について確認するものであるのに対し、第三者評価は、よりよい支援を目指し、福祉サービスの質の向上を意図しているものです。

宝塚さざんか福祉会としても、サービス内容の評価は、サービス提供者が自らの問題点を具体的に把握し、改善を図るための重要な手段であり、こうした評価は、客観的に行われることが重要だと考え、公正・中立な第三者評価機関による専門的・客観的な評価受審を導入することとし、このことを中長期事業計画に取り入れました。平成27年3月「今後、3～5年の間に優先的に取り組む施策」の支援の在り方と内容に「第三者評価を受ける」を組み込みました。

実施に向けて準備を進め、自己評価によって自らサービスを点検し、第三者に説明をすることで、サービスの現状と課題を明確にしていく目的で、平成30年度はいきいき宝夢が評価を受審し、平成31年度は、宝塚さざんかの家、宝塚あしたば園と続いています。令和2年度は宝塚けやきの里、ワークプラザ宝塚を予定しています。今後も順に評価を受けていきます。

宝塚さざんか福祉会として、受けただけで終わりではなく、各事業所、この評価を受けて、より良い福祉サービスの提供に向けた課題や取り組みが職員間で同じ情報として共有化し、日々の支援を振り返ることにより、改善に向けた課題や取り組みを明確にしていきます。評価結果を公表することで「見える化」につなげていきます。また、目標設定や互いに業務を認識しあえる体制づくりに活用していきます。

今後も信頼と納得が得られるサービスの質と効率性の向上に向けた意識や意欲を高め、組織的、継続的に改善を図る起点として、第三者評価を活用していきます。



新しい仲間紹介



ワークプラザ宝塚

- 1 亀井 茜 (かめい あかね)
- 2 兵庫県
- 3 旅行に行くこと
- 4 元気満ち
- 5 今まで大きなケガもなく23年間を過ごしていること、素敵な職場で素敵な先輩方に出会えたことが一番嬉しかったことです。
- 6 障害に対する知識が豊富で一人ひとりにあった支援ができて誰からも頼られる支援者になりたいです。



いきいき宝夢

- 1 奥園 俊樹 (おくぞの としき)
- 2 晴れの国岡山県
- 3 サッカー、フットサル、alcoholを摂取すること
- 4 「食欲旺盛」しか思い浮かびませんがあまりにも格好悪すぎるので「七転八起」です!
- 5 親と呑みに行ったことorサッカーをしている時間
- 6 向上心を持ち続けどんな場面でも多様な視点を持つ。→利用者一人ひとりに対し同じ支援にならないよう特性を見極めた支援・声掛けを行う。自分の引き出しを増やしていきたい。



宝塚くるみの里

- 1 神田 佐和子 (かんだ さわこ)
- 2 島根県
- 3 カフェ巡り、自然を見に行くこと (星とか夕日とか)
- 4 猪突猛進 (マイペースだけど周りが見えない)
- 5 大学の合格発表で友人と嬉し涙を流したこと
- 6 利用者本位、利用者の想いに寄り添える支援員



いきいき宝夢

- 1 溝邊 伊織 (みぞべ いおり)
- 2 大阪府
- 3 ギターの弾き語り
- 4 優柔不断
- 5 学生時代に、同級生や先生から誕生日プレゼントで手作りリアルパムをもらったこと。
- 6 見た目では、障害があると分かりにくい知的障害者の方々の権利を守り、差別や誤解、偏見を減らしていけるような支援者になりたいです。



さざんかグループホーム

- 1 生田 礼莉 (いくた らいり)
- 2 兵庫県
- 3 旅行 海外旅行が好きです。
- 4 一短一長
- 5 たくさんありますが、小学校5年生の時、誕生日プレゼントで犬を飼ってくれたこと、小学校からイタリアに行くのが夢で、旅行でイタリアにいけたことです。
- 6 笑う門には福来る 対人支援のため、笑顔が心がけてかわりたくたいです。又、笑っていると、健康に良いといわれているので、健康で元気に動けるようにと思ひ座右の銘にしました。



宝塚けやきの里

- 1 政田 真栄 (まさだ まえ)
- 2 兵庫県
- 3 お昼寝、カフェ巡り
- 4 「早寝早起」
- 5 一番はわかりませんが、休みの日にのんびり散歩をしたり、カフェに行ったりするときに幸せだなと感じます。
- 6 人の良いところを沢山見つけられる支援員です。



いきいき宝夢

- 1 北 早紀子 (きた さきこ)
- 2 兵庫県
- 3 C&Kのライブに行くこと。
- 4 「有言実行」自分の発言した言葉には、最後まで責任をもって行動します。
- 5 旅先で偶然C&Kに出会い、暫く同じ空間で遊んだこと。
- 6 どんなことがあっても笑顔を保ち、利用者様一人ひとりが安心して自己を表出できるような支援者が理想の支援者です。



宝塚さざんかの家

- 1 吾田 千夏 (あずた ちなつ)
- 2 兵庫県
- 3 音楽を聴くこと、YouTube鑑賞、野球観戦、好きな人のライブへ行くこと
- 4 天真爛漫
- 5 毎日楽しく出勤できる職場に出会えたこと。
- 6 何事も利用者さん第一で考える。



宝塚くるみの里

- 1 猪川 博子 (いかわ ひろこ)
- 2 東京都
- 3 韓国ドラマを観る事
- 4 質実剛健
- 5 子どもの誕生
- 6 利用者の健康状態を把握して必要な支援ができる事



宝塚あしたば園

- 1 坪田 真由子 (つばた まゆこ)
- 2 兵庫県
- 3 日本旅行 海によく行きます。自然に触れること、海鮮料理を食べることが好きです。
- 4 天真爛漫...自分で考えても自分を表す四字熟語が全く思いつかなかったので、同じ職場の先輩方に教えて頂きました。
- 5 嬉しかったことは今までの人生の中でたくさんあったので、順位をつけるのは難しいです。最近嬉しかったことは、10年間乗った自転車を手放し、新しく自転車を買ったことです。頂いた給料で欲しいものを買えると、お仕事頑張って良かった!また頑張ろう!と思えます。
- 6 利用者さんとの関わりを楽しむことが出来る支援員。入社してから少しずつではありますが、利用者さんの特性を掴めてきました。自身が提案した支援方法で、利用者さんに良い変化が現れると、とても嬉しく仕事のやりがいも感じています。仕事内で失敗することや利用者さんの支援でつまずく時もありますが、失敗を恐れずに頑張っていきたいです。

質問事項

- 1 名前
- 2 出身地
- 3 趣味
- 4 自分を四字熟語で表すなら?
- 5 人生で一番うれしかったことは?
- 6 理想の支援者像は?
(座右の銘)



宝塚けやきの里

- 1 田野 博士 (たの ひろし)
- 2 兵庫県
- 3 散歩
- 4 悠悠閑閑
- 5 呑み行ったり、散歩したり、のんびりしたりしているとき
- 6 全体の状況を把握し、利用者さん一人ひとりの活躍の場を考えられる支援員です。

回谷秋祭りがおこなわれました

今年も10月4日(金)にワークプラザ宝塚といきいき宝夢が合同で口谷秋祭りを開催しました。保護者会や地域の方をはじめ今年度は丸橋小学校PTAの方もボランティアに来ていただき皆さんの協力のもと無事に終えることができました。祭りの衣装では利用者と職員ともに好きなコスチュームをそれぞれ選び楽しんでいました。近隣の保育園や幼稚園のご家族と一緒にゲームをして賑わっていました。また模擬店のあるグランド側では音楽に合わせて小学生たちが嬉しそうに利用者と一緒に踊る姿が見られました。これからも地域の祭りとなるよう盛り上げていきたいと思ひます。

HALLOWEEN



安倉フェスタも盛り上がりました

今年も10月30日(水)に安倉フェスタを開催しました。宝塚さざんかの家、宝塚あしたば園、宝塚けやきの里と鳥島団地自治会のご協力を得てカラオケやゲームを楽しめました。宝塚けやきの里保護者会からのにゅう麵の炊き出しがあり、身体がホカホカ。ステージでの太鼓演奏も迫力満点でした。

自治会の方や近隣にお住まいの方、あひる保育園の園児やご家族の参加もあり、我々法人利用者を含め、皆で楽しむ時間となりました。

私たちが生活する地域で何ができるのか。そんなことを考えながら来年度も計画をしていきたいと考えています。



自主生産品ご紹介



宝塚さざんか福祉会の自主生産品(商品)にはクッキー、ケーキをはじめ、さをり織、組みひも、スタンドグラス、ポンポンたわし、などがあります。

地域のイベント販売や注文対応など頑張っていますが、実は商品を買うのに一番信頼できる方法は口コミなのです。皆さんがまず、SasanQuaの商品を手にとっていただき、その良さを感じていただきたいと思います。



宝塚さざんかの家では、『ポンポンたわし』を作っています。すでにご存じの方もいらっしゃると思いますが、安倉の美容院一ちえさん、山本駅にある510カフェ(ごとうカフェ)さん、逆瀬川にあるギャラリー cafe ミュゲさん、陶芸教室、こむの市、その他、宝塚の様々な場所やイベントで販売しており、年々販売箇所が増えております。

販売箇所拡大の背景には、ご家族様よりご紹介して頂くことが多くあり、利用者との納品の際には、販売についての様々なアドバイスを頂いております。販売数も増加しており販売時には「これ、凄く落ちるのよ。また買うわ。」と嬉しいお言葉を頂

いております。

製作工程は、ナイロンチュール(布) 裁断(利用者)→チュールを束ねて印打ち(職員)→たわしにする縫い合わせ(利用者と職員)となっています。

色を選ぶことが得意な方、チュールの裁断が得意な方、チュールを重ねるのが得意な方、縫うのが得意な方、値札をつけるのが得意な方とたくさんいらっしゃいます。

このように私共が作る『ポンポンたわし』は利用者の様々な特性に合わせて作業ができるのです。

たくさんご利用者で『ポンポンたわし』をぜひ、一度ご購入下さい。



宝塚めふプラザでは「世界に一つのものづくり」をテーマに、さをり織り・組紐・スタンドグラスを使った自主生産品の製作販売を行っています。利用者職員が力を合わせて、毎日素晴らしい商品作りに挑戦しています。

特に力を入れているさをり織りの反物製作では、複雑な準備から色選び・打ち込み・後処理まで、ひとつひとつ利用者自身で行っています。色選びのセンスで出来る柄の雰囲気は大きくかわるため、ふたつとして同じ反物は存在しません。

一番人気商品の「サコッシュバッグ」は職員間でも大人気で、多くの人に愛用されています。

利用者一人ひとりの個性を存分に発揮して作り上げる世界に一つの商品を、ぜひ一度、お試しください!



令和元年
7月27日(土)

宝塚ホテルにて新人歓迎会



- | | |
|------------|---|
| 13:00 開会 | 理事長挨拶 松井 美弥子 |
| 13:10 親睦会 | カンパイ 木村 孝一 |
| 13:40 ひとこと | 食事(ブッフェ形式・フリードリンク)
新任職員より(12名)
先輩職員より(各事業所より) |
| 15:00 閉会 | 常務理事挨拶 今西 則行 |

笑顔いっぱいの今年度新任職員12名です。全員が「仕事楽しいです」のメッセージを受けて、この笑顔を曇らせないように私たちも負けずに頑張ります。と先輩たちからの熱いメッセージ。

宝塚さざんか福祉会では生活支援員を募集しています

多岐にわたる事業所で、明るく楽しい先輩職員がしっかりと教えます。未経験の方も大歓迎です。相手の立場に立って、きちんと物事を考え行動できる方をお待ちしています。詳細は宝塚さざんか福祉会のホームページに募集要項を掲載しています。

福祉会ホームページ <http://www.sazankafukushi.org/>



令和元年11月22日(金)

いきいきホールにて永年勤続表彰式



5年、10年、15年、、、中には25年を迎えられた方も。素晴らしい!

長年にわたり勤め上げることの大変さや喜び、充実感等を共感し、楽しい時間となりました。

編集後記

これまでさざんか福祉会の広報誌は、後援会の編集委員の皆さまがお忙しい合間を縫ってお集まり頂いて読み手の方に親しんで頂きやすい内容や言い回しなど、何度も白熱する編集会議を重ねながら発行の日を迎えてきました。

今回の広報誌から初心にもどり、さざんか福祉会の発行紙第1号として法人内で編集を行いました。いざ、紙面編集をスタートすると、日々の仕事の中で進捗がゆったりとしすぎ、改めて後援会の編集委員でお世話になりました皆様の顔を思い出して感謝しております。

広報誌発行第1号は初号で内容等につきましては、創意工夫の余白部分がたくさんあると思います。法人をご利用いただく利用者様、ご家族様、関係者の皆様、働く職員の仲間皆様と利用者様の暮らしのことや、法人の取り組みや想いを分かち合える場所になればと願っております。

宝塚さざんかの家 山下 知一